

最近の米をめぐる関係資料

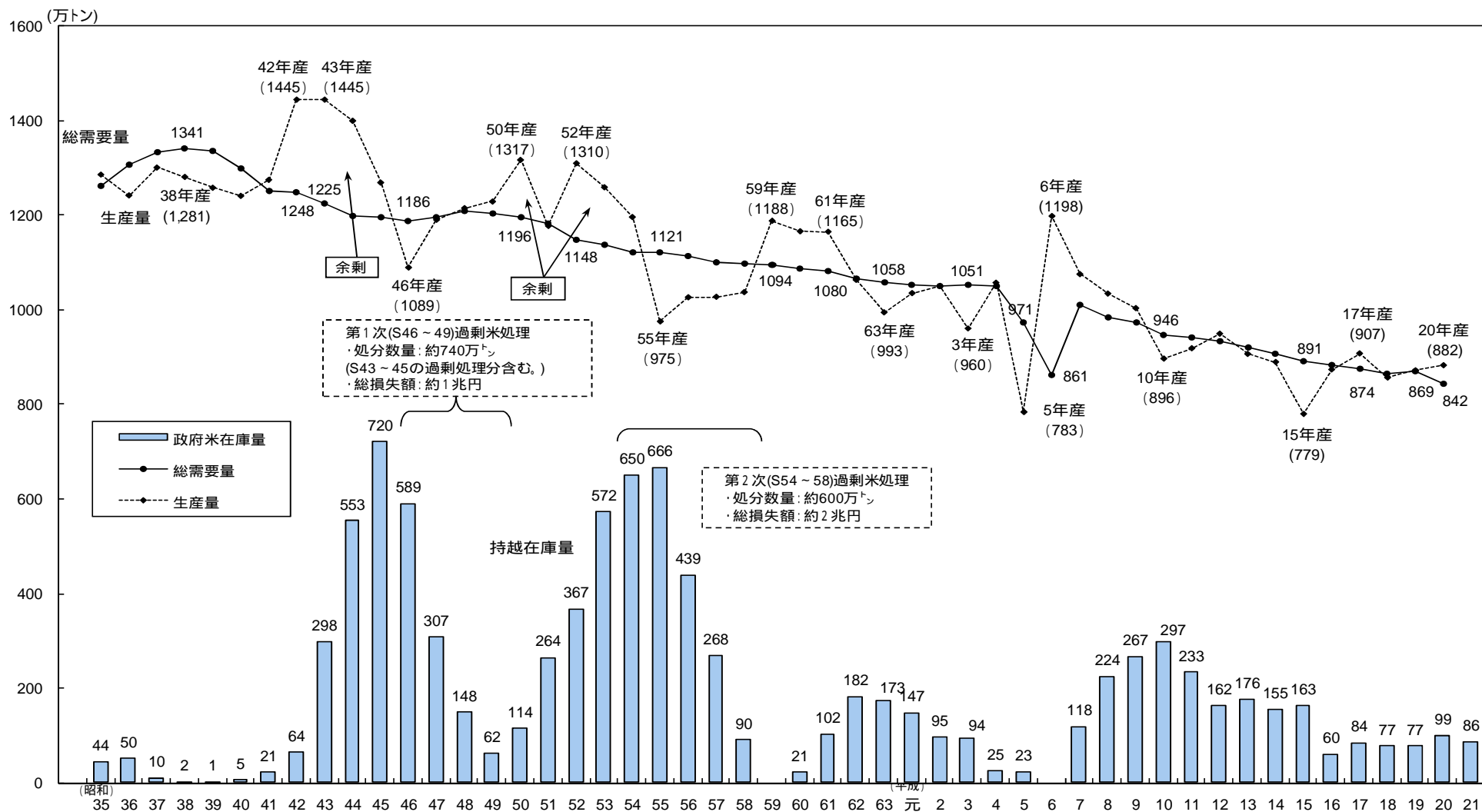
平成 2 1 年 1 1 月

農林水産省

目 次

米の全体需給の動向（昭和35年～）	・ ・ ・ ・ ・	1
家庭における米購入量の推移	・ ・ ・ ・ ・	2
主食用米の販売動向（米穀卸売業界調査）	・ ・ ・ ・ ・	3
外食の動向	・ ・ ・ ・ ・	5
平成20年産米及び21年産米の相対取引価格の推移	・ ・ ・ ・ ・	8
平成20年産米の相対取引価格（出荷業者）（速報）	・ ・ ・ ・ ・	9
平成21年産米の相対取引価格（出荷業者）（速報）	・ ・ ・ ・ ・	10
米消費拡大の取組	・ ・ ・ ・ ・	11
米飯学校給食の推進（米飯学校給食の実施回数目標と実績）	・ ・ ・ ・ ・	13
MA米の状況	・ ・ ・ ・ ・	14
商業用のコメの輸出数量等の推移	・ ・ ・ ・ ・	15
全国の生産調整の取組状況の推移（16～21年）	・ ・ ・ ・ ・	16
平成21年産米における生産調整の取組状況	・ ・ ・ ・ ・	17
平成21年産新規需要米の取組計画認定状況	・ ・ ・ ・ ・	18

米の全体需給の動向（昭和35年～）

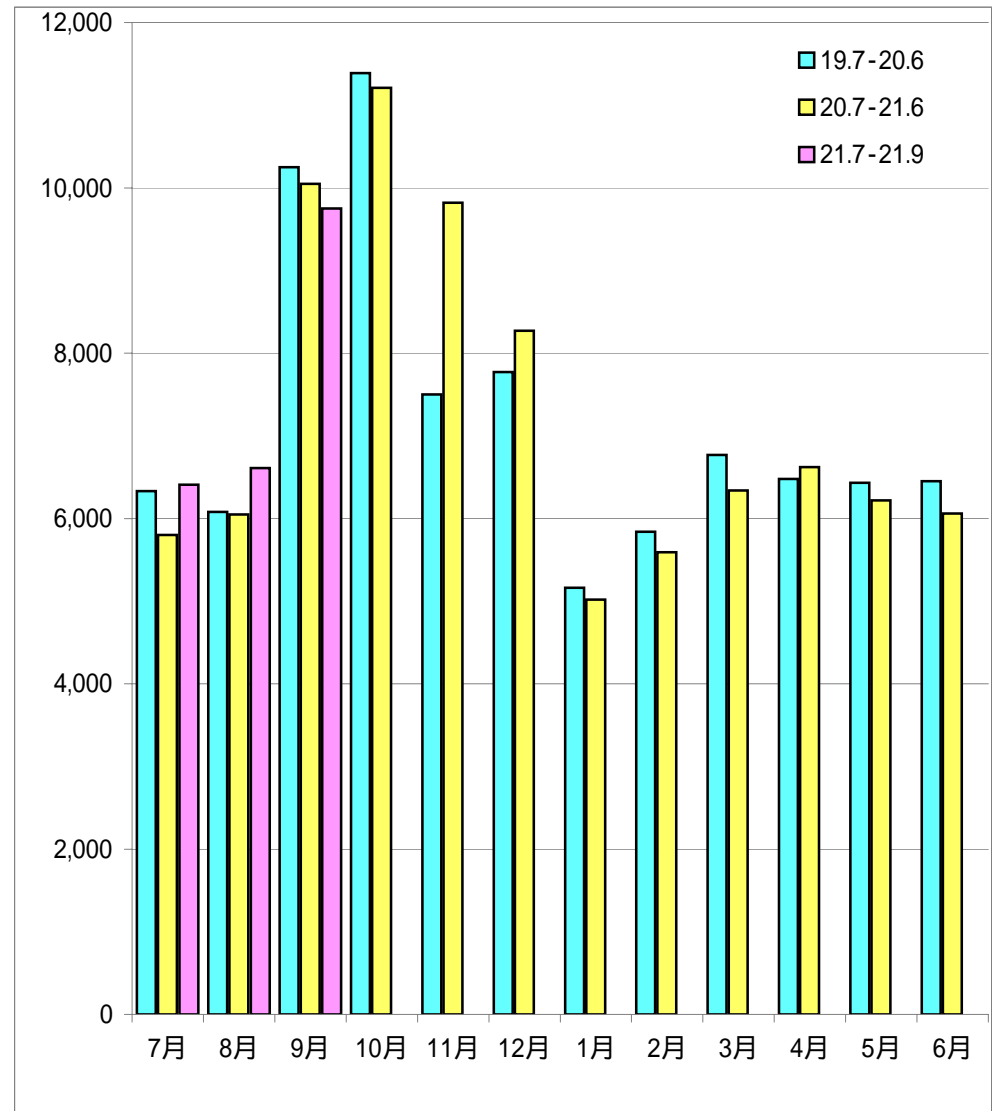


- 注1 政府米在庫量は、外国産米を除いた数量で各年10月末現在である。ただし、平成15年以降は各年6月末現在である。
- 2 平成12年の政府米在庫量は、「平成12年緊急総合米対策」による援助用隔離等を除いた数量である。
- 3 総需要量は、食料需給表における各年度の国内消費仕向量（主食用、飼料用、種子用、加工用等の合計数量）である。ただし、平成5年以降は国内消費仕向量のうち国産米のみの数量である。
- 4 生産量は、水稻と陸稻の合計である。

家庭における米購入量の推移

(単位:グラム)

	月間購入量	対前年同月比	年間累計	対前年比
H19.7	6,330	0.8%	86,450	2.5%
H19.8	6,080	0.3%		
H19.9	10,250	14.8%		
H19.10	11,390	6.0%		
H19.11	7,500	4.0%		
H19.12	7,770	0.4%		
H20.1	5,160	4.7%		
H20.2	5,840	2.1%		
H20.3	6,770	6.1%		
H20.4	6,480	1.9%		
H20.5	6,430	1.9%		
H20.6	6,450	3.2%		
H20.7	5,800	8.4%	87,050	0.7%
H20.8	6,050	0.5%		
H20.9	10,050	2.0%		
H20.10	11,210	1.6%		
H20.11	9,820	30.9%		
H20.12	8,270	6.4%		
H21.1	5,020	2.7%		
H21.2	5,590	4.3%		
H21.3	6,340	6.4%		
H21.4	6,620	2.2%		
H21.5	6,220	3.3%		
H21.6	6,060	6.0%		
H21.7	6,410	10.5%	22,770	4.0%
H21.8	6,610	9.3%		
H21.9	9,750	3.0%		



家計調査(総務省統計局)の1世帯当たりの米の購入量(二人以上の世帯)

主食用米の販売動向（米穀卸売業界調査）

[調査の概要]

全国米穀販売事業共済協同組合が、米穀の販売・需要動向を多角的に把握することを目的として、同組合会員企業を対象に実施。今後も、四半期に一度程度、継続的に調査することを検討。

アンケート発送数 40会員（うち回答数 37会員）
調査期間 平成21年10月27日（火）～平成21年11月6日（金）

1 . 20年10月～21年9月の米の販売量（前年同期比）

集計結果	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
	100%	5.4%	18.9%	18.9%	27.0%	29.7%

販売先別	合計	増	やや増	±	やや減	減
大手スーパー	100%	17.9	32.1	17.9	32.1	0.0
中小スーパー	100%	5.7	28.6	37.1	25.7	2.9
米穀専門店	100%	0.0	2.9	17.1	40.0	40.0
その他	100%	4.2	8.3	41.7	33.3	12.5

ファミレス	100%	0.0	4.8	38.1	47.6	9.5
ファストフード	100%	6.7	20.0	46.7	26.7	0.0
一般飲食店	100%	0.0	6.5	38.7	45.2	9.7
中食向け	100%	6.1	15.2	36.4	30.3	12.1
給食向け	100%	3.2	9.7	54.8	25.8	6.5

*太字は、最頻値。

主な回答理由

<この1年の販売量について>

大手スーパー向け：特売が増えたため、増加。

中小スーパー向け：特売で増加。/廃業で減少。

米穀専門店向け：取引先である外食店向けが減少。/専門店自身の客数低迷等で減少。/過疎化の影響で減少。

ファミレス・一般飲食店向け：客数減少の影響あり。

ファストフード向け：店舗数が増えており、増加。

中食向け：冷凍米飯は好調。/消費低迷の影響も。

給食向け：社員食堂用は企業業績低迷の影響で減少。

<その他、全体的な意見>

消費動向に明るさが見えない。

消費者に新米へのこだわりがなくなってきている。

外食産業向けにも生産者直売が増えている。

主食用米の販売動向（米穀卸売業界調査）

2. 米販売の動き：3ヶ月前との比較 / 3ヶ月後の見通し

(1) 21年7月～9月と比較した現在（21年10月）の販売の動き

集計結果	合計	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる	DI値
	100.0%	0.0%	13.5%	16.2%	54.1%	16.2%	31.76

販売先別	合計	良	やや良	±	やや悪	悪	DI指数
大手スーパー	100%	0.0	14.8	25.9	48.1	11.1	36.1
中小スーパー	100%	0.0	11.4	22.9	57.1	8.6	34.3
米穀専門店	100%	0.0	0.0	22.9	51.4	25.7	24.3
その他	100%	0.0	4.3	34.8	47.8	13.0	32.6
ファミレス	100%	0.0	9.5	38.1	47.6	4.8	38.1
ファストフード	100%	0.0	6.7	33.3	60.0	0.0	36.7
一般飲食店	100%	0.0	3.2	45.2	48.4	3.2	37.1
中食向け	100%	0.0	6.1	45.5	42.4	6.1	37.9
給食向け	100%	0.0	6.7	73.3	16.7	3.3	45.8

(2) 今から3ヶ月後（22年1月頃）の販売の動き

集計結果	合計	良くなる	やや良くな る	変わらない	やや悪くな る	悪くなる	DI値
	100%	2.7%	27.0%	32.4%	18.9%	18.9%	43.92

販売先別	合計	良	やや良	±	やや悪	悪	DI指数
大手スーパー	100%	3.7	33.3	25.9	22.2	14.8	47.2
中小スーパー	100%	2.9	25.7	34.3	31.4	5.7	47.1
米穀専門店	100%	0.0	2.9	37.1	34.3	25.7	29.3
その他	100%	0.0	8.7	47.8	26.1	17.4	37.0
ファミレス	100%	0.0	13.6	45.5	22.7	18.2	38.6
ファストフード	100%	0.0	13.3	46.7	33.3	6.7	41.7
一般飲食店	100%	0.0	9.7	45.2	32.3	12.9	37.9
中食向け	100%	0.0	27.3	36.4	30.3	6.1	46.2
給食向け	100%	3.2	16.1	48.4	25.8	6.5	46.0

*1. **太字は、最頻値。**

2. DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数（%ポイント）としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい（現状維持）を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果（構成比） B	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI値 C = A × B	17.8	15	10	5.6	0
DI値（合計）	48.4 販売はほんの少し低迷傾向				

外食の動向

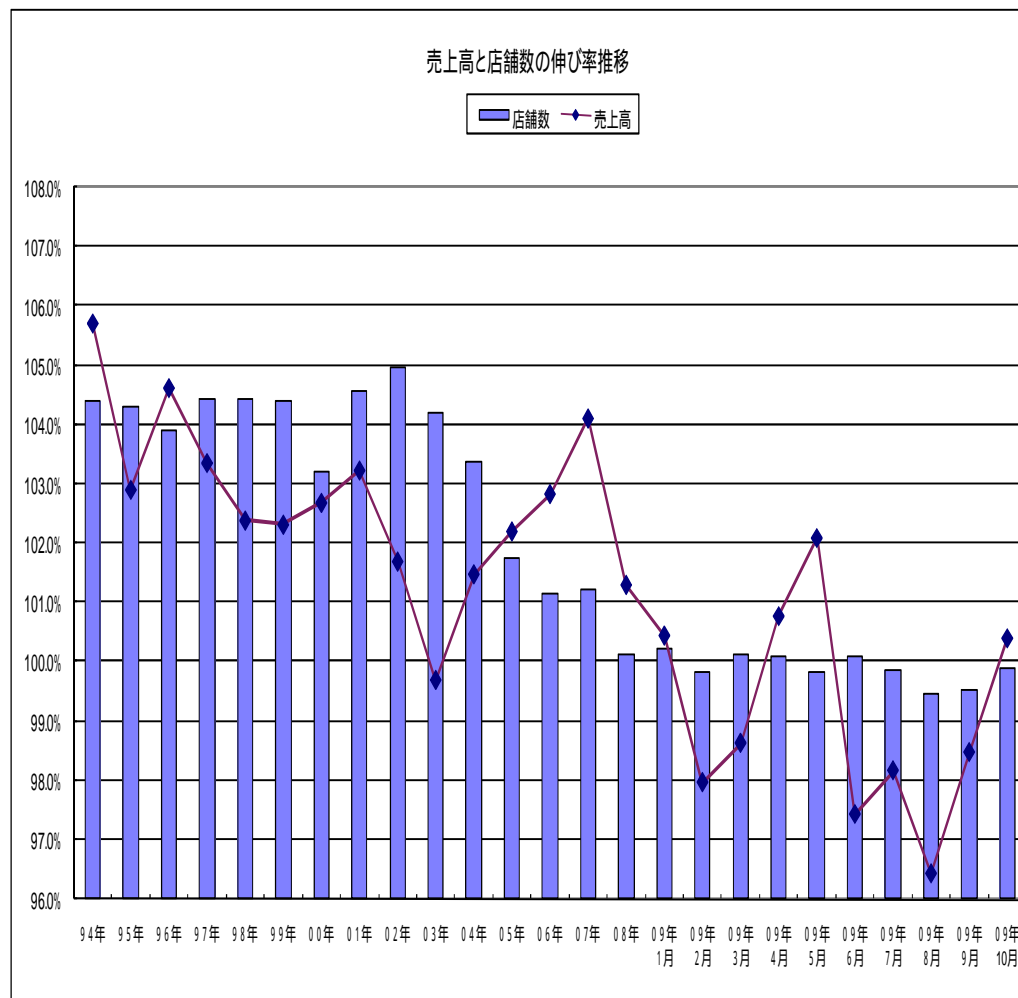
「外食産業市場動向調査」(社団法人日本フードサービス協会)

1) 10月度全店データ

1. 全店データ(前年同月比)

		売上高	店舗数	客数	客単価	
	事業社数	店舗数	前年比	前年比	前年比	前年比
	(N=204)	(N=30590)	100.4%	99.9%	102.2%	98.2%
全体						
	(N= 48)	(N=16097)	105.9%	102.0%	105.4%	100.5%
ファーストフード						
洋風	(N= 19)	(N=7444)	108.5%	99.3%	108.0%	100.5%
和風	(N= 8)	(N=2639)	95.0%	104.8%	92.0%	103.3%
麺類	(N= 18)	(N=2144)	117.1%	109.2%	119.9%	97.7%
持ち帰り米飯/回転寿司	(N= 12)	(N=1709)	99.6%	99.5%	102.9%	96.8%
その他	(N= 7)	(N=2161)	102.0%	103.5%	101.1%	100.9%
ファミリーレストラン						
合計	(N= 58)	(N=8959)	97.2%	96.8%	100.0%	97.2%
洋風	(N= 31)	(N=4236)	98.2%	99.0%	101.4%	96.8%
和風	(N= 23)	(N=2225)	90.6%	96.5%	91.0%	99.6%
中華	(N= 11)	(N=1104)	104.8%	90.6%	106.6%	98.3%
焼き肉	(N= 15)	(N=1394)	96.8%	96.1%	100.8%	96.1%
パブ/居酒屋						
合計	(N= 39)	(N=2435)	92.8%	99.2%	93.9%	98.8%
パブ・ビアホール	(N= 10)	(N=394)	91.8%	90.4%	95.7%	95.9%
居酒屋	(N= 33)	(N=2041)	93.0%	101.1%	93.5%	99.5%
ディナーレストラン(計)	(N= 27)	(N=461)	91.9%	98.3%	91.5%	100.4%
喫茶(計)	(N= 14)	(N=1932)	93.5%	100.0%	94.0%	99.5%
その他(計)	(N= 18)	(N=706)	90.4%	96.4%	90.8%	99.6%

* ファーストフード、ファミリーレストラン、パブ/居酒屋の各業態の内訳に関しては、重複する事業社があるため合計の数値は必ずしも内訳の累積に一致しない。



(社団法人日本フードサービス協会ホームページより)

外食の動向

2. 全店時系列データ(前年同月比)

a. 売上高前年同月比

	08年10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	101.3%	105.3%	100.3%	100.4%	98.0%	98.6%	100.8%	102.1%	97.4%	98.2%	96.4%	98.5%	100.4%
ファーストフード	104.2%	111.0%	104.0%	105.6%	102.5%	104.9%	104.8%	106.3%	99.3%	102.0%	100.9%	103.3%	105.9%
ファミリーレストラン	97.2%	100.4%	95.8%	94.5%	94.0%	92.7%	97.1%	99.9%	96.9%	94.8%	92.8%	94.6%	97.2%
パブレストラン/居酒屋	101.1%	99.3%	100.3%	97.9%	93.8%	93.8%	98.2%	96.4%	94.6%	95.5%	91.0%	93.0%	92.8%
ディナーレストラン	97.8%	99.8%	92.5%	94.0%	89.2%	89.9%	91.7%	95.6%	91.6%	91.6%	90.6%	95.4%	91.9%
喫茶	103.6%	99.9%	99.9%	99.6%	95.6%	95.5%	96.0%	92.7%	94.3%	92.9%	94.0%	94.3%	93.5%
その他	105.3%	109.4%	102.3%	98.7%	93.7%	95.5%	94.8%	94.5%	91.1%	94.3%	93.4%	95.5%	90.4%

b. 店舗数前年同月比

	08年10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	100.0%	100.2%	100.2%	100.2%	99.8%	100.1%	100.1%	99.8%	100.1%	99.9%	99.5%	99.5%	99.9%
ファーストフード	100.5%	101.5%	101.2%	101.9%	101.4%	101.7%	102.0%	101.9%	102.1%	102.1%	101.9%	102.0%	102.0%
ファミリーレストラン	99.3%	98.5%	99.1%	98.2%	97.8%	98.1%	97.6%	97.1%	98.1%	97.3%	96.6%	96.5%	96.8%
パブレストラン/居酒屋	98.3%	98.1%	98.5%	96.7%	96.9%	97.7%	97.5%	98.8%	97.3%	96.8%	97.0%	97.8%	99.2%
ディナーレストラン	99.2%	99.7%	99.5%	100.7%	100.4%	99.5%	101.7%	100.0%	98.8%	99.7%	99.5%	97.8%	98.3%
喫茶	101.3%	100.2%	99.6%	100.3%	99.6%	99.8%	98.3%	97.7%	97.6%	97.5%	97.7%	98.6%	100.0%
その他	105.9%	107.3%	99.7%	98.9%	98.5%	100.6%	100.0%	97.8%	98.0%	96.8%	98.7%	97.1%	96.4%

c. 利用客数前年同月比

	08年10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	100.0%	102.2%	98.9%	98.7%	96.8%	99.2%	101.3%	101.4%	99.0%	100.0%	99.9%	101.8%	102.2%
ファーストフード	101.5%	104.3%	100.7%	101.3%	98.8%	102.6%	103.0%	103.3%	99.7%	102.4%	103.1%	105.6%	105.4%
ファミリーレストラン	97.9%	101.1%	96.4%	94.7%	95.4%	94.4%	99.6%	100.8%	99.5%	97.2%	96.1%	97.2%	100.0%
パブレストラン/居酒屋	97.7%	96.3%	99.0%	96.8%	93.8%	93.8%	99.4%	98.4%	96.0%	96.6%	92.0%	94.1%	93.9%
ディナーレストラン	100.2%	102.1%	96.2%	96.9%	93.0%	93.4%	96.0%	95.5%	94.3%	92.1%	91.2%	94.3%	91.5%
喫茶	96.5%	92.3%	93.7%	93.2%	89.8%	93.7%	95.5%	92.1%	95.0%	93.0%	94.7%	94.0%	94.0%
その他	111.2%	114.5%	100.7%	98.7%	92.8%	91.5%	95.6%	91.5%	93.1%	99.8%	99.9%	95.2%	90.8%

d. 客単価前年同月比

	10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	101.2%	103.0%	101.4%	101.8%	101.2%	99.4%	99.5%	100.7%	98.4%	98.2%	96.5%	96.8%	98.2%
ファーストフード	102.7%	106.4%	103.2%	104.2%	103.8%	102.2%	101.7%	102.9%	99.6%	99.5%	97.8%	97.8%	100.5%
ファミリーレストラン	99.2%	99.3%	99.3%	99.8%	98.5%	98.2%	97.5%	99.1%	97.3%	97.6%	96.6%	97.3%	97.2%
パブレストラン/居酒屋	103.4%	103.1%	101.4%	101.1%	100.0%	100.0%	98.8%	98.0%	98.5%	98.8%	98.9%	98.8%	98.8%
ディナーレストラン	97.6%	97.7%	96.2%	97.0%	95.8%	96.2%	95.5%	100.2%	97.2%	99.4%	99.3%	101.1%	100.4%
喫茶	107.3%	108.2%	106.7%	106.8%	106.4%	101.9%	100.6%	100.7%	99.3%	99.9%	99.3%	100.4%	99.5%
その他	94.7%	95.5%	101.5%	100.0%	101.0%	104.4%	99.2%	103.3%	97.9%	94.5%	93.5%	100.4%	99.6%

(社団法人日本フードサービス協会ホームページより)

外食の動向

2008年度「JFAフランチャイズチェーン統計調査」(社団法人日本フランチャイズチェーン協会)抜粋

(2) 外食業

2008年度の外食業界は、店舗数、売上高ともに前年度を割り込む結果となってしまった。これで2年連続のマイナス成長となった。そうした中でも、比較的順調な伸びを見せたのが、「ファーストフード」に属する「アイスクリーム」(前年度比+9.7%)と「ハンバーガー」(同+1.9%)といえる。

外食業界で目立った動きは、リーマンショック(08年9月)以降顕著になったメニューの低価格化へのシフト。それに、数年前から続いているM&Aが2008年度においてもかなり見られたことがあげられる。なお、低価格志向は外食に限らず、小売業でもサービス業でも顕著になってきた現象といえよう。

一般レストラン関係の中では、手堅く成長した分野が目立った。たとえば、ピザ・パスタ専門店を含むイタリアンレストランなどである。これらの分野には、既存店が転業転換する形で新規参入する例も多い。「西洋料理・ステーキ・ピザ・パスタ」分野がチェーン数、店舗数、売上高ともに拡大しているのは、その理由による。

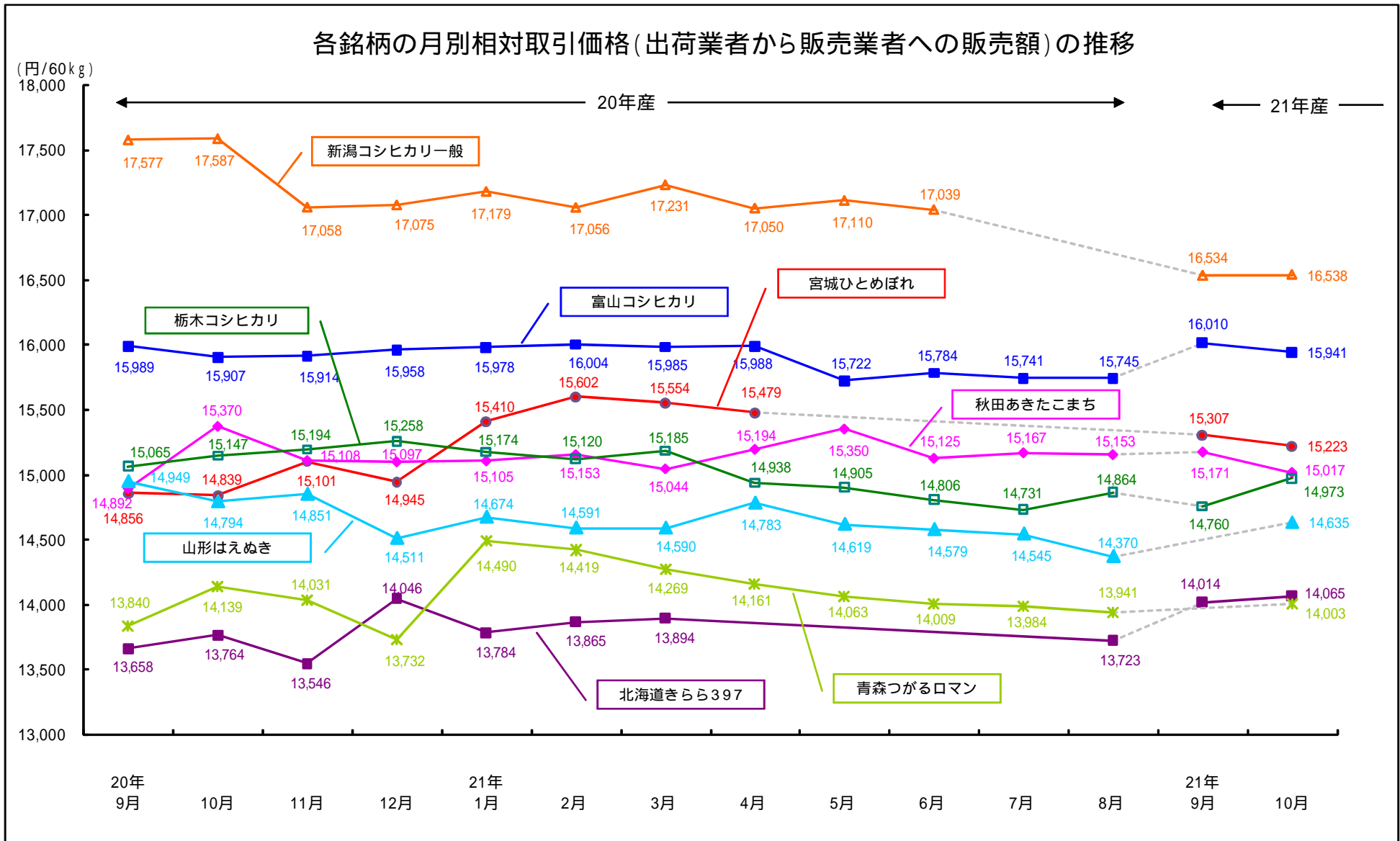
外食フランチャイズの中で、やや後退しているのが「日本料理・寿司店」分野。ここでは回転寿司の成長鈍化が響いている。

2008年度FC統計調査(業種別チェーン数・店舗数・売上高)

	チェーン数			店舗数				売上高			
	2007年	2008年	増減	2007年	2008年	増減	前年比	2007年	2008年	増減	前年比
外食業合計(2)	540	533	-7	55,465	54,316	-1,149	97.9%	4,036,484	3,939,402	-97,082	97.6%
ファーストフード	223	222	-1	31,456	31,093	-363	98.8%	2,144,589	2,064,770	-79,819	96.3%
持ち帰り寿司・弁当店	20	22	2	8,018	7,555	-463	94.2%	427,891	391,128	-36,763	91.4%
ラーメン・餃子	83	91	8	5,182	4,983	-199	96.2%	254,812	250,774	-4,038	98.4%
カレー・牛丼	19	17	-2	3,464	3,593	129	103.7%	271,221	266,238	-4,983	98.2%
ハンバーガー	10	7	-3	6,160	6,067	-93	98.5%	653,373	665,621	12,248	101.9%
アイスクリーム	9	9	0	1,101	1,350	249	122.6%	36,017	39,511	3,494	109.7%
その他ファーストフード	82	76	-6	7,531	7,545	14	100.2%	501,275	451,498	-49,777	90.1%
一般レストラン	174	179	5	12,981	12,490	-491	96.2%	1,164,192	1,180,064	15,872	101.4%
日本料理・寿司店	66	61	-5	2,901	2,496	-405	86.0%	238,838	225,002	-13,836	94.2%
西洋料理・ステーキ・ピザ・パスタ	37	46	9	3,514	3,754	240	106.8%	289,904	319,737	29,833	110.3%
中華料理店	14	7	-7	922	788	-134	85.5%	95,751	91,537	-4,214	95.6%
焼肉店・その他の一般レストラン店	57	65	8	5,644	5,452	-192	96.6%	539,699	543,788	4,089	100.8%
居酒屋・パブ	98	93	-5	6,310	5,991	-319	94.9%	413,545	411,033	-2,512	99.4%
コーヒーショップ	45	39	-6	4,718	4,742	24	100.5%	314,158	283,535	-30,623	90.3%

(社団法人日本フランチャイズチェーン協会ホームページより)

平成20年産米及び21年産米の相対取引価格の推移



平成20年産米の相対取引価格（出荷業者）（速報）

（単位：円 / 玄米60kg）

産地	品種銘柄	地域区分	20年				21年																	
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月										
北海道	きらら397		13,658	13,764	13,546	14,046	13,784	13,865	13,894														13,723	
北海道	ななつぼし		13,877	13,608	14,127	14,038	13,967	14,342	14,311	14,147	13,932													
北海道	ほしのゆめ		13,934		13,897	14,124	14,281			14,190														
青森	つがるロマン		13,840	14,139	14,031	13,732	14,490	14,419	14,269	14,161	14,063	14,009	13,984	13,941										
青森	まっしぐら		13,517	13,830	13,758	13,631	14,204	14,268	14,205				13,824											
青森	むつぼまれ			13,591																				
岩手	ひとめぼれ		15,106	14,900	15,276	15,223	15,537	15,238	15,145	15,603	14,955	15,081	15,445	15,295										
岩手	あきたこまち		14,869	14,753	14,871	14,976	15,008	14,803																
宮城	ひとめぼれ		14,856	14,839	15,101	14,945	15,410	15,602	15,554	15,479														
宮城	ササニシキ		14,914	14,952	15,380				15,532															
秋田	あきたこまち		14,892	15,370	15,108	15,097	15,105	15,153	15,044	15,194	15,350	15,125	15,167	15,153										
山形	はえぬき		14,949	14,794	14,851	14,511	14,674	14,591	14,590	14,783	14,619	14,579	14,545	14,370										
山形	コシヒカリ			16,093	16,174	15,815	16,126	15,192	15,522															
福島	コシヒカリ	中通り		15,458	15,300	15,099	15,223	14,884	15,136				14,820											
福島	コシヒカリ	会津		16,108	16,308	16,122	16,258		16,201															
福島	コシヒカリ	浜通り		15,485	15,428	15,308	15,475																	
福島	ひとめぼれ		14,861	14,572	14,727	14,599	14,818	14,317	14,601															
茨城	コシヒカリ		15,387	15,256	15,402	15,263	15,431	15,396	14,949	15,239		14,803	14,655	14,865										
栃木	コシヒカリ		15,065	15,147	15,194	15,258	15,174	15,120	15,185	14,938	14,905	14,806	14,731	14,864										
栃木	あさひの夢		13,496	13,445	13,611	13,713		13,679	13,686															
千葉	コシヒカリ		14,803	14,937	15,050	15,194	15,344		15,051	15,631														
長野	コシヒカリ		15,477	15,690	15,558	15,437	15,660	15,859																
長野	あきたこまち			14,355	14,303		14,467																	
新潟	コシヒカリ	一般	17,577	17,587	17,058	17,075	17,179	17,056	17,231	17,050	17,110	17,039												
新潟	コシヒカリ	魚沼	24,903	24,949	24,931	25,071	25,091	25,047	25,074				25,016											
新潟	コシヒカリ	岩船	17,869	17,936	17,416	17,472	17,435																	
新潟	コシヒカリ	佐渡	17,843	17,841	17,381	17,554	17,421																	
新潟	こしいぶき		14,518	14,557	14,716	14,919	14,923																	
富山	コシヒカリ		15,989	15,907	15,914	15,958	15,978	16,004	15,985	15,988	15,722	15,784	15,741	15,745										
石川	コシヒカリ		15,498	15,534		15,297	15,193		15,235		15,235	15,206												
福井	コシヒカリ		15,658	15,597	15,595		15,586	15,492																
福井	ハナエチゼン		14,557	14,512	14,490			14,430																
岐阜	コシヒカリ		15,349	15,357	15,473		15,477																	
三重	コシヒカリ	一般	15,391	15,229	15,396	15,400	15,429	15,544	15,414															
三重	コシヒカリ	伊賀	15,804			15,901																		
滋賀	コシヒカリ		15,166	15,156	15,329	15,319	15,466	15,452		15,302		15,365												
滋賀	キヌヒカリ		14,508	14,650	14,744	14,916		14,889		14,960														
鳥取	コシヒカリ		15,309	15,022			15,301																	
鳥取	ひとめぼれ		14,484	14,386			14,701																	
島根	コシヒカリ			15,407		15,083	15,487		15,192	15,213													15,193	
山口	コシヒカリ		15,147						15,321	15,143														
山口	ヒノヒカリ			14,497					14,789															
山口	ひとめぼれ		14,475						14,781															
香川	ヒノヒカリ			14,364	14,664	14,575	14,709																	
福岡	ヒノヒカリ			14,741	14,788	14,786	14,810																	
佐賀	ヒノヒカリ			15,026	15,055		14,700	14,777																
佐賀	夢しずく			15,270		15,190	15,067	14,937					14,287											
熊本	ヒノヒカリ			14,746		14,928	14,879																	
熊本	コシヒカリ		15,539	15,444			15,646																	
熊本	森のくまさん			14,773																				
大分	ヒノヒカリ				15,115	14,731	14,803		13,510															
全銘柄平均価格			15,163	15,174	15,163	15,162	15,253	15,227	15,201	15,269	15,149	15,085	15,081	15,000										

注1) 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

注2) 全銘柄平均価格は、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

注3) 速報値である。

平成21年産米の相対取引価格（出荷業者）（速報）

(単位: 円 / 玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	21年9月	21年10月	(参考)			
					20年9月		20年10月	
						/		/
北海道	きらら397		14,014	14,065	13,658	103%	13,764	102%
北海道	ななつぼし		14,197	13,985	13,877	102%	13,608	103%
青森	つがるロマン			14,003			14,139	99%
青森	まっしぐら			13,769			13,830	100%
岩手	ひとめぼれ		15,144	14,995	15,106	100%	14,900	101%
岩手	あきたこまち			14,792			14,753	100%
宮城	ひとめぼれ		15,307	15,223	14,856	103%	14,839	103%
秋田	あきたこまち		15,171	15,017	14,892	102%	15,370	98%
山形	はえぬき			14,635			14,794	99%
福島	コシヒカリ	中通り		14,321			15,458	93%
福島	コシヒカリ	会津		15,617			16,108	97%
福島	ひとめぼれ			14,147			14,572	97%
茨城	コシヒカリ		14,782	14,808	15,387	96%	15,256	97%
栃木	コシヒカリ		14,760	14,973	15,065	98%	15,147	99%
千葉	コシヒカリ		14,380	14,725	14,803	97%	14,937	99%
長野	コシヒカリ		15,393	15,512	15,477	99%	15,690	99%
長野	あきたこまち			14,518			14,355	101%
新潟	コシヒカリ	一般	16,534	16,538	17,577	94%	17,587	94%
新潟	コシヒカリ	魚沼	23,454	23,427	24,903	94%	24,949	94%
新潟	コシヒカリ	岩船	16,857	16,907	17,869	94%	17,936	94%
新潟	コシヒカリ	佐渡	16,869	16,826	17,843	95%	17,841	94%
富山	コシヒカリ		16,010	15,941	15,989	100%	15,907	100%
福井	ハナエチゼン		14,138	14,147	14,557	97%	14,512	97%
岐阜	コシヒカリ			15,869			15,357	103%
三重	コシヒカリ	一般	15,173	14,958	15,391	99%	15,229	98%
福岡	ヒノヒカリ			14,908			14,741	101%
熊本	ヒノヒカリ			14,893			14,746	101%
全銘柄平均価格			15,169	14,988	15,163	100%	15,174	99%

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1) 相対取引価格は、全国出荷団体、年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の1等米の数量及び価格(運賃、包装代、消費税相当額を含めた価格。)により加重平均したものである。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2) また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3) 産地品種銘柄は、20年産でコメ価格センターに上場があった産地品種銘柄で、かつ、月1,000トン以上の取引があったものである。

4) 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5) 20年9月及び20年10月は20年産の価格である。

米消費拡大の取組

「めざましごはんキャンペーン」の展開

朝食欠食の改善や米を中心とした日本型食生活の普及・啓発により食料自給率向上に資するため、各種広報媒体を活用した情報提供を実施。

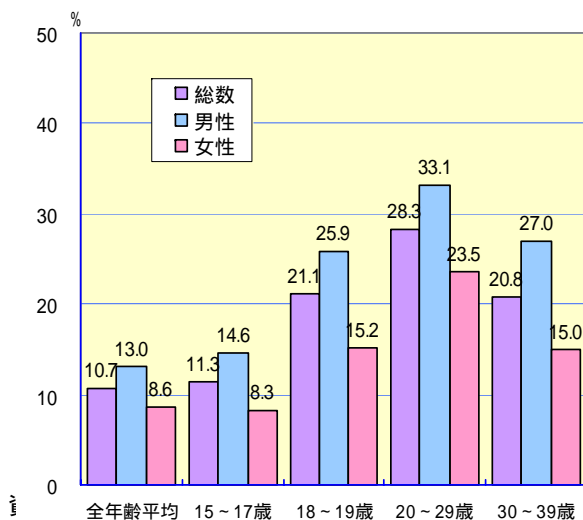
また、食品関係企業、団体等(4千社)と連携し、官民挙げてのキャンペーンを実施。

キャンペーン参加企業は、ロゴマークの商品貼付や、ポスター、CM映像等を活用し、米関連商品と連動した販促活動を実施。

(ポスター/リーフレット(表面))

(リーフレット裏面)

高校を卒業する18～19歳で朝食の欠食が急増



「早寝早起き朝ごはん」国民運動とも連携

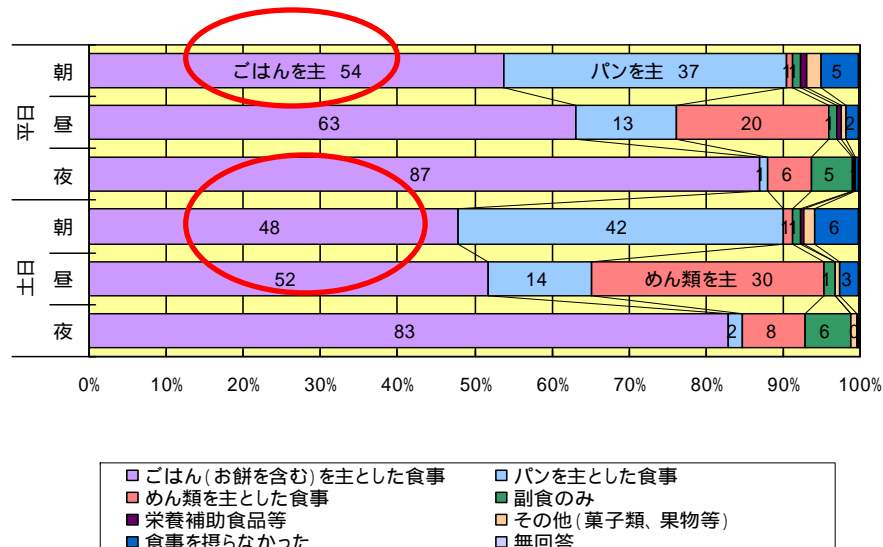


米消費拡大の取組

朝食の内容と欠食の市場規模

- 朝食市場は、欠食が多い上に、ごはん食比率の低い市場。
若年層(20~30歳代、特に単身者)を中心とした朝食の欠食は、**年間約50億食、総額約1.5兆円**の市場に相当。

食事内容の構成(平成19年)



資料:平成19年度第4回食料消費モニター調査

朝食欠食の市場規模

	全国			
	平均	20歳代	30歳代	その他
朝食欠食率 (%)	10.7	28.3	20.8	5.8
人口(18年10月1日) (千人)	127,770	15,326	18,917	93,527
1日の欠食数 (千人)	13,671	4,337	3,935	5,399
年間欠食数 (億食)	50	16	14	20
市場規模 (億円)	15,000	4,800	4,300	5,900

資料:平成17年「国民健康・栄養調査結果の概要」
注:市場規模は、1食あたり300円として試算。

米飯学校給食の推進 (米飯学校給食の実施回数目標と実績)

米飯学校給食実施回数の新たな目標

文部科学省は、平成20年度末に米飯学校給食の新たな目標として「週3回以上」(週3回以上の地域や学校については、週4回などの目標設定を促す)を通知。

学校における米飯給食の推進について

平成21年3月31日
文部科学省スポーツ・青少年局長通知(抜粋)

米飯給食の推進については、週3回以上を目標として推進するものとする。

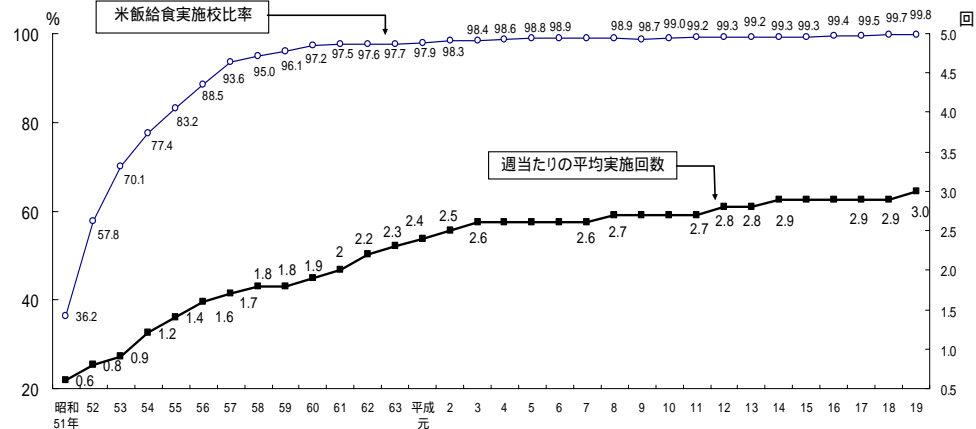
この場合、地場産物の活用推進の観点から、地場産の米や小麦を活用したパン給食など、地域の特性を踏まえた取組にも配慮する。

また、地域や学校の事情等により実施回数が異なっている現状にかんがみ、以下のように、地域や学校の事情等に応じた段階的、漸進的な実施回数の増加を促すこととする。

(1) 大都市等実施回数が週3回未満の地域や学校については、週3回程度への実施回数の増加を図る。

(2) 既に過半を占める週3回以上の地域や学校については、週4回程度などの新たな目標を設定し、実施回数の増加を図る。

○ 米飯学校給食実施回数の推移



○ 都道府県別米飯給食の実施状況

1. 全国平均 3.0回
2. 都道府県別の実施状況

回数	該当都道府県名
4.0回	高知県(3.0)
3.7回	新潟県(3.5)、福井県(3.5)、京都府(3.2)
3.5回	山形県
3.4回	岩手県(3.3)、鳥取県
3.3回	宮城県、富山県(3.2)、石川県、島根県
3.2回	秋田県(3.1)、千葉県、和歌山県、佐賀県、宮崎県(3.1)
3.1回	福島県、岐阜県、愛知県、三重県(3.0)、岡山県、徳島県(2.9)、福岡県(3.0)、大分県、鹿児島県、沖縄県
3.0回	栃木県、長野県、滋賀県、兵庫県(2.8)、広島県、香川県、熊本県
2.9回	北海道、青森県(2.8)、茨城県、山梨県、愛媛県、長崎県
2.8回	群馬県、東京都(2.7)、静岡県、奈良県、山口県(2.6)
2.7回	埼玉県(2.6)
2.6回	大阪府
2.5回	神奈川県(2.3)

太字は前年度より実施回数が増えた都道府県で、(カッコ)内は前年度の回数

出典：文部科学省「米飯学校給食状況調査」

MA米の状況

MA米の輸入数量(輸入先国別)

(単位:万玄米トン)

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	合計
アメリカ	19	23	29	32	34	36	36	36	36	36	36	36	36	40	465
タイ	11	14	15	15	16	17	15	15	15	19	19	18	25	26	240
中国	3	4	5	8	9	10	14	11	11	10	9	8	8	7	117
オーストラリア	9	9	9	11	11	12	11	10	9	2	2	5	-	-	100
その他	1	1	2	2	2	2	1	5	5	10	11	10	1	0	53
合計	43	51	60	68	72	77	77	77	76	77	77	77	70	73	975

注:20年度分については、平成21年10月末時点で未通関のものを除く。

MA米の販売状況(年度別)

(単位:万玄米トン)

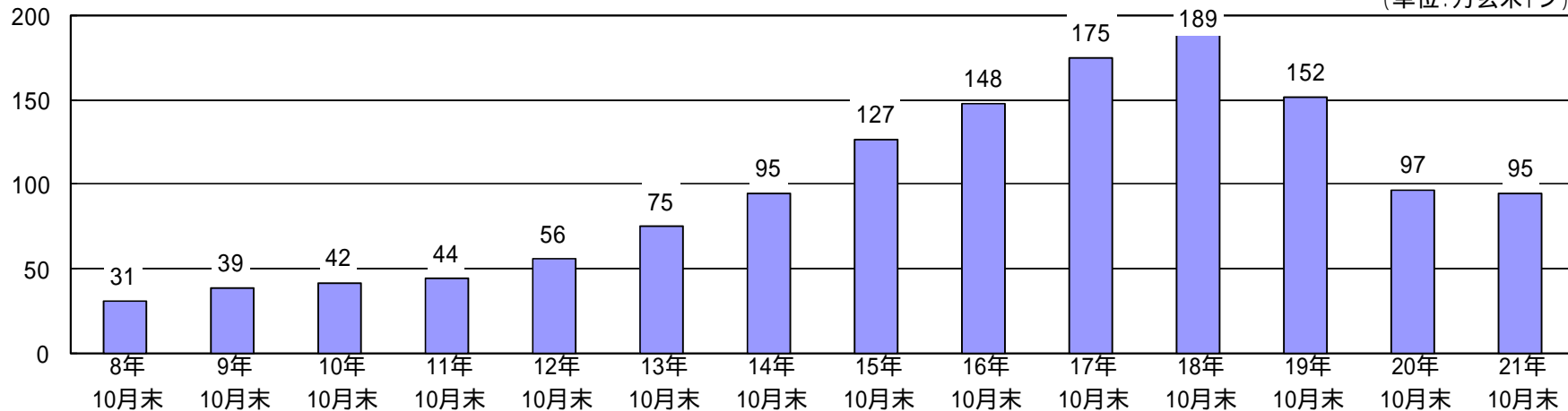
販売先	8RY	9RY	10RY	11RY	12RY	13RY	14RY	15RY	16RY	17RY	18RY	19RY	20RY	21RY	合計
主食用	-	3	4	10	10	9	10	4	6	8	10	11	10	8	103
加工用	12	28	19	28	24	28	24	21	32	25	25	37	37	22	362
援助用	-	12	34	23	26	21	23	20	22	17	13	8	12	20	251
飼料用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	58	66	25	164
合計	12	43	57	61	60	58	57	45	60	50	63	114	125	75	880

注1:RY(米穀年度)とは前年11月から当年10月までの1年間である(例えば20RYであれば、平成19年11月から平成20年10月まで)。

注2:四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

MA米の在庫量の推移

(単位:万玄米トン)



商業用のコメの輸出数量等の推移

	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年 (1~9月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	408 (+9%)	235 (+23%)	634 (+55%)	320 (+36%)	967 (+53%)	427 (+34%)	940 (-3%)	527 (+24%)	1,294 (+38%)	641 (+21%)	771 (-6%)	335 (-23%)
台湾	183	77	413	169	593	161	450	175	453 (+1%)	168 (-4%)	181 (-23%)	65 (-26%)
香港	115	65	99	57	155	74	218	119	341 (+56%)	172 (+45%)	327 (32%)	139 (9%)
シンガポール	63	45	63	35	63	40	92	48	173 (+88%)	81 (+68%)	115 (2%)	53 (-3%)
中国	18	5	0	0	2	7	72	43	90 (+25%)	52 (+21%)	0	0
ロシア	0	0	0	0	0	1	4	3	63 (+1475%)	28 (+801%)	7 (-87%)	2 (-92%)
米国	6	15	16	25	128	99	41	71	26 (-37%)	49 (-31%)	8 (-50%)	19 (-48%)
英国	4	8	6	9	4	16	4	18	9 (+125%)	18 (+1%)	15 (114%)	10 (-32%)
タイ	5	3	5	3	1	1	21	8	7 (-67%)	8 (+4%)	1 (-50%)	3 (-26%)
フランス	2	3	3	2	1	10	3	14	5 (+67%)	9 (-32%)	4 (±0%)	6 (-20%)
その他	12	14	29	20	20	18	35	29	127 (+263%)	55 (+91%)	113 (40%)	37 (-13%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:「その他」に含まれる国は、アルジェリア、オーストラリア、パナマなど 22ヶ国(9月)。

注3:数量においては1トン未満、金額においては1,000円未満はカウントされていないほか、援助用と推察されるものを除いている。

全国の生産調整の取組状況の推移（16～21年）

年産	生産数量目標	実生産量	-	を面積換算したもの	実作付面積	-	実作付面積が生産数量目標の面積換算値を上回る府県	作況
	千ト	千ト	千ト	千ha	千ha	千ha	府県	
16	8,574.4	8,598.8	24.4	1,633.2	1,658.4	25.2	21	98
17	8,510.4	8,933.3	422.9	1,614.9	1,652.3	37.4	22	101
18	8,331.0	8,397.4	66.4	1,574.9	1,642.9	68.1	27	96
19	8,284.8	8,542.2	257.4	1,566.1	1,636.9	70.7	31	99
20	8,149.7	8,658.0	508.3	1,542.1	1,596.3	54.2	20	102
21	8,150.0	8,311.0	161.0	1,542.8	1,592.0	49.1	18	98

注1： は都道府県間調整や消費純増策（～H19）による補正を行った後の数値。

注2： は、統計部公表の水稲収穫量から加工用米・新規需要米等の取組数量を控除したものである。

注3： は、統計部公表の水稲作付面積から、加工用米・新規需要米等の取組計画認定面積を控除したものである。

平成21年産米における生産調整の取組状況

都道府県名	生産数量 目標	を 面積換算 したもの	水稲作付 面積	主食用水稲 作付面積		作況 指数			都道府県名	生産数量 目標	を 面積換算 したもの	水稲作付 面積	主食用水稲 作付面積		作況 指数		
				加工用米 面積	新規需要 米等面積								加工用米 面積	新規需要 米等面積			
	ト	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ト	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
全国	8,150,020	1,542,849	1,637,000	26,126	18,906	1,591,968	49,100	98									
北海道	605,720	113,430	114,500	1,868	101	112,532	898	89	滋賀	174,810	33,750	33,300	458	153	32,689	1,061	99
青森	266,780	46,000	49,300	1,488	259	47,553	1,553	101	京都	80,880	15,842	15,800	67	25	15,708	134	95
岩手	295,830	55,500	56,900	1,373	567	54,960	540	100	大阪	27,970	5,678	5,840	1	3	5,836	158	100
宮城	382,730	72,210	74,500	1,142	1,257	72,101	109	100	兵庫	193,400	38,370	38,800	392	180	38,229	142	98
秋田	467,160	81,615	90,400	3,573	1,255	85,572	3,957	99	奈良	43,570	8,500	9,350	9	31	9,310	810	100
山形	382,861	64,451	68,600	2,004	1,078	65,518	1,067	100	和歌山	36,830	7,474	7,650	0	2	7,648	175	100
福島	365,000	68,134	81,400	423	783	80,194	12,060	101	鳥取	72,510	14,106	14,300	85	193	14,022	84	94
茨城	355,040	68,280	77,500	1,152	571	75,778	7,498	100	島根	98,050	19,261	19,500	129	212	19,159	102	96
栃木	321,240	59,600	64,200	1,069	1,028	62,103	2,503	101	岡山	167,000	31,773	33,900	153	318	33,429	1,656	102
群馬	83,160	16,835	18,400	256	335	17,809	974	101	広島	138,370	26,461	26,200	164	150	25,886	575	100
埼玉	161,140	32,655	35,900	114	356	35,431	2,776	101	山口	121,870	24,180	23,800	0	50	23,750	430	99
千葉	262,030	49,730	62,300	267	423	61,610	11,880	99	徳島	60,840	12,847	13,800	0	51	13,749	902	99
東京	930	230	186	0	0	186	44	99	香川	76,640	15,361	15,200	0	14	15,186	175	99
神奈川	14,930	3,070	3,220	0	3	3,217	147	102	愛媛	79,840	16,030	15,600	0	43	15,557	473	99
新潟	575,040	106,948	118,400	5,516	1,716	111,167	4,219	99	高知	51,980	11,363	13,600	0	51	13,549	2,186	102
富山	207,140	38,720	39,600	1,288	88	38,224	496	100	福岡	197,260	39,530	39,900	409	497	38,994	536	100
石川	134,373	25,990	26,400	423	58	25,918	72	98	佐賀	143,950	27,260	27,000	90	100	26,810	450	100
福井	136,330	26,370	26,900	637	148	26,115	255	97	長崎	66,340	14,001	14,100	12	60	14,028	27	101
山梨	28,917	5,290	5,330	20	21	5,290	0	96	熊本	206,460	40,090	42,100	348	2,507	39,244	846	100
長野	208,419	33,474	34,700	330	129	34,241	768	96	大分	126,470	25,140	25,400	29	616	24,756	384	100
岐阜	121,770	24,953	25,100	95	321	24,685	268	94	宮崎	103,150	20,921	22,400	18	2,200	20,182	739	104
静岡	87,310	16,710	17,900	37	244	17,619	909	97	鹿児島	120,600	25,180	25,000	88	335	24,577	603	103
愛知	144,140	28,430	31,200	258	128	30,814	2,384	98	沖縄	3,220	1,044	948	0	7	941	103	103
三重	150,020	30,063	31,100	341	241	30,518	454	96									

注1: は県間調整後の数値。

注2: は、統計部公表の水稲作付面積から加工用米・新規需要米等面積を除いた数値。

注3: 新規需要米等面積は、新規需要米認定面積のほか、新規需要米扱いとなっていない青刈り分を含む。

注4: なお、この表による生産調整達成都道府県は25都道府県となるが、このほか出入り作の調整により達成する山形県・三重県・和歌山県・長崎県を含めた29都道府県が達成となる。

平成21年産新規需要米の取組計画認定状況

	飼料用		米粉用		輸出用		バイオエタノール用		青刈り稲 ・わら専用稲 ・稲発酵粗飼料	主食用以外の 用途のための種子		その他その用途が主食用米の需 給に影響を及ぼさないもの		合 計
	数量(トン)	面積 (ha)	数量(トン)	面積 (ha)	数量(トン)	面積 (ha)	数量(トン)	面積 (ha)	面積 (ha)	数量(トン)	面積 (ha)	数量(トン)	面積 (ha)	面積 (ha)
合 計	23,264	4,123	13,041	2,401	926	164	2,314	295	10,947	304	62	804	150	18,142
北海道	17	3	150	31	4	1	105	15	49				0	99
青 森	733	130	145	27	12	2			100	4	1			259
岩 手	1,514	265	262	53	1	0			243	9	2		0	563
宮 城	2,389	406	287	52	50	9			784	25	5	5	1	1,257
秋 田	761	127	3,132	461	416	72			587	21	3		1	1,252
山 形	3,706	614	233	41	198	33			357	43	7	25	4	1,057
福 島	1,869	350	121	23	3	1			390	6	1	8	2	767
茨 城	775	122	40	7	1	0			381	13	3	0	1	515
栃 木	2,235	412	774	153	16	3			458	10	2			1,028
群 馬	60	12	515	111	3	1			210	4	1			335
埼 玉	233	45	898	209	1	0			101	1	0	4	1	356
千 葉	689	126	459	86	8	2			150					364
東 京														
神奈川												16	3	3
新 潟	77	14	3,642	683	140	25	2,209	280	224	1	0	332	56	1,282
富 山	264	37	41	7	35	7	1	0	32			15	3	87
石 川	17	3	65	13	2	0			5			195	35	56
福 井	300	56	81	16	0	0			76					148
山 梨	6	1	32	6	0	0			3			55	10	21
長 野	136	24	146	23	5	1			80			2	1	129
岐 阜	1,096	239	41	8	1	0			65	18	5			318
静 岡	418	80			1	0			128					208
愛 知	316	63	112	22	0	0			39					124
三 重	183	26	171	35	17	4			121	5	1			186
滋 賀	140	25	57	11	0	0			118			0	0	153
京 都	61	9	10	2	0	0			12			1	0	24
大 阪			10	2								1	0	2
兵 庫	25	5	75	15	1	0			97	0	0	117	23	140
奈 良	1	0	71	15	0	0			13	1	0			29
和歌山	8	2												2
鳥 取	72	10	49	10	0	0			170	1	0			190
島 根	549	83	4	1	1	0			127			0	0	212
岡 山	163	33	376	71	1	0			213	1	0		1	318
広 島	20	4	37	5	3	1			135	15	3	0	0	148
山 口	41	8	33	7	1	0			30	6	1		0	47
徳 島	31	7	94	20					24					51
香 川	20	3	12	3	0	0			8			1	0	14
愛 媛	5	1			1	0			41					43
高 知	99	26	52	12	0	0			8			20	5	51
福 岡	647	95	54	12	2	0			388	9	2			497
佐 賀	168	32	6	2					65	2	0			99
長 崎	81	17	2	0	1	0			38			1	0	57
熊 本	1,343	246	523	100	1	0			2,146	41	8	2	1	2,501
大 分	1,028	212	45	9					393	10	2			616
宮 崎	883	134	134	23	1	0			2,028	47	14	3	1	2,199
鹿 児 島	82	14	52	11					304	9	2			332
沖 縄									5					5

注1：生産調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けたもの。

注2：その他の取組には、19年産まで実施していた消費純増策の取組が含まれている。